

平成25年度行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	勤労青少年の国際交流を活用したキャリア形成支援事業		担当部局庁	職業能力開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度		担当課室	海外協力課		海外協力課長 福澤義行		
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		施策名	Ⅱ-1-4 多様な職業能力開発の機会を確保する。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第15条の2第1項第2号、第3号及び第4号並びに第2項 雇用保険法第63条第1項第1号及び第7号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成24年6月に取りまとめられた「若者雇用戦略」及び「グローバル人材育成戦略」に基づき、海外インターンシップ、ワーキングホリデー等の海外での経験を希望する若者に対し、渡航前における海外事情等に係る事前研修、キャリアコンサルティング等の実施、帰国後における若年者が海外で得た経験を評価し、ジョブ・カードに記載すること等により、渡航前から帰国後までの一貫したキャリア形成支援等を行う。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 渡航前における支援 渡航前における事前研修やキャリアコンサルティングの実施等 ○ 渡航中及び帰国後における支援等 渡航先における相談援助等、帰国後におけるジョブ・カードを活用した海外体験の評価等 ○ 好事例等の公表を通じた普及啓発 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算					159	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					159	
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	事前研修、キャリア・コンサルティング等、本事業で提供する支援が、渡航中のキャリア形成、帰国後の就職活動等に役に立ったと回答した割合		成果実績	%	-	-	-	80
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	渡航前における事前研修会の実施回数		活動実績(当初見込み)	回	-	-	-	30
	渡航前及び帰国後におけるキャリア・コンサルティング会の実施回数		活動実績(当初見込み)	回	-	-	-	100
単位当たりコスト	渡航前における事前研修会 1回当たり1,843千円 渡航前及び帰国後におけるキャリア・コンサルティング会 1回当たり578千円		算出根拠	渡航前における事前研修会 予算額55,304千円 ÷ 30回 渡航前及び帰国後におけるキャリア・コンサルティング会 予算額57,822千円 ÷ 100回				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	(目)諸謝金	-	0.60	新規要望				
	(目)職員旅費	-	0.70					
	(目)委員等旅費	-	0.20					
	(目)庁費	-	0.30					
	(目)生涯職業能力開発事業等委託費	-	157.00					
	計	0	159.00					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・グローバル化が加速する21世紀の世界経済の中にあつて、国際的に活躍できる「グローバル人材」が必要とされており、ニーズがあり、優先度も高い。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・国の「若者雇用戦略」や「グローバル人材育成戦略」において、本事業の内容が位置づけられており、国が実施すべきものである。
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	－
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	－
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	－
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	－
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	－
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	－
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	－
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名	－
－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－	
点検結果	効率的な予算執行に努めるとともに平成25年度実績等を踏まえ、必要に応じて平成26年度概算要求に向けて見直しを行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
－	「若者雇用戦略」、「グローバル人材育成戦略」の取りまとめを踏まえ、本事業は、海外インターンシップ等の海外での経験を希望する若者を対象としたキャリア・コンサルティング等による渡航前から帰国後まで一貫したキャリア形成支援の実施等に取り組む事業であり、事業性を鑑みて役割の大きい優先度の高い事業である。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
－	－		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－

平成25年度
厚生労働省
159百万円

B 事務費
1.8百万円

勤労青少年の国際交流促進を効果的に実施するため、勤労青少年の国際交流促進のあり方に関する検討会にて今後の国際交流促進のあり方を検討する。

【内訳】
諸謝金 (0.6百万円)
職員旅費 (0.7百万円)
委員等旅費(0.2百万円)
庁費 (0.3百万円)



【委託・企画競争】

民間団体等
157百万円

- 現地事情等を事前に提供し、現地での就業や修学等を円滑にするため事前研修を行う。
- 事前研修参加者から中小企業事業主、キャリアコンサルタント等により、渡航前、帰国後等の支援対象とする若者を選考する。
- 渡航前にキャリアコンサルティングを行い、職業能力の棚卸しを行い、渡航中の能力開発の強い動機付けを行うとともに、ジョブ・カードへの記録、渡航中のキャリア形成支援計画等を策定する。
- ネットを活用した渡航中における相談援助等を実施し、渡航中等における効果的な能力開発を支援する。
- 帰国後において、キャリア・コンサルティング等により、海外体験の評価を実施し、ジョブ・カードにその経験を記載し、若者のキャリア形成を支援する。
- 相談事例集、海外就労経験者へのアンケート調査結果、好事例集の作成・公表

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.本省事務費			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					-